

事業の基礎情報

実施主体	山形県 尾花沢市
事業実施地域	尾花沢市内
共創の類型	官民共創
他分野共創の類型	まちづくり
共創パートナー	尾花沢市・MONET Technologies株式会社・TOPIC・ソフトバンク株式会社・株式会社尾花沢タクシー
運行形態	AIデマンド交通・移動市役所・タクシー
運行主体	株式会社尾花沢タクシー

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

当市の都市計画マスタープラン(「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考えに基づき、市街地における居住を推進し、この居住を支える行政、医療・福祉、商業等の生活利便施設を集約し、これらを公共交通などで結ぶことにより、暮らしやすい都市づくりを進めていくための計画)に基づき、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、より使いやすい公共交通環境を整えるため移動課題の把握（生活圏の広がりや偏り、現状の公共交通網とのギャップを可視化）を実施する。分析結果を活用しながら、既存交通のタクシー/路線バスの利便性を向上すると共にデマンドタクシーを導入する等、高齢者を中心とした交通弱者（移動困難者）の利便性向上を図りながら、交通事業者の負担軽減と行政事務の効率化につながるしくみを構築する。高齢者が外出する機会が増え、社会参加の促進につながると共に、中山間地域等における行政サービスの利便性向上を図りながら“だれひとり取り残さない行政サービス”を構築する。

（事業の概要）※補足資料 1ページ参照

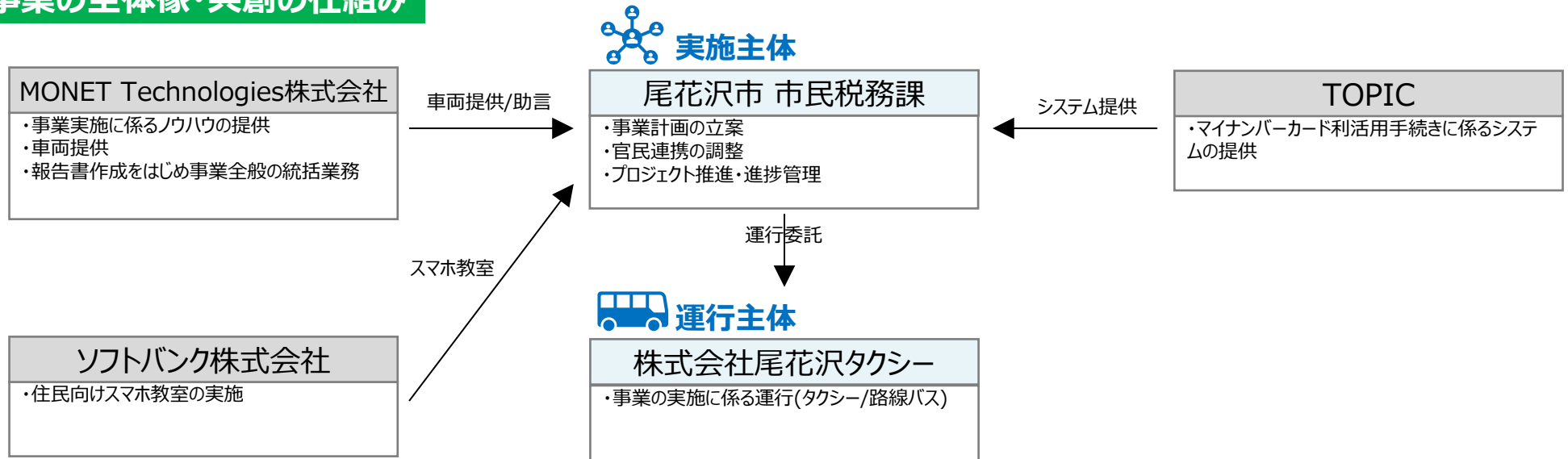
- ①地域の自治体や交通事業者、地域住民、そして事業に係る専門事業者や団体と連携し、移動課題の把握や解決に取り組みます。
- ②ビッグデータを用いてのデータ分析を活用し、生活圏の広がりや偏り、交通課題等の公共交通網とのギャップを可視化し、より効率的な公共交通計画を提案します。
- ③高齢者や交通弱者の利便性向上を図るため、既存のタクシー/バスでの割引チケットをマイナンバーカードを活用し電子化することで利便性を向上させます。同時に、交通事業者や行政の負担軽減と効率化を図る仕組みを構築します。また中山間地域に居住など交通弱者への対策として本来市役所まで来て実施する必要のある上記申請業務を移動市役所の車両を活用し、ご自宅付近まで訪問することで住民の行政サービスの利便性向上も考慮し、多様化する市民ニーズに対応する行政サービスを提供します。
- 中長期的には当該年度にデマンド導入時のシュミレーションを実施のうえ令和7年度にデマンド交通システム導入を検討中。

デジタル技術を活用した持続可能な地域公共交通のリデザイン

応募様式A

尾花沢市 地域公共交通活性化 共創協議会

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

- 株式会社尾花沢タクシー：創業47年地元地域に密着し、既存のタクシーだけでなく路線バスの委託運行も実施中であり地域の公共交通を支える。
- MONET Technologies：データ分析を通じて、交通課題の実態を把握し、交通の利便性・効率性の向上に寄与する適切な策を検討/実施する。また移動市役所事業の車両提供のみならず他事例でのノウハウを活用した実施業務の仕様検討車両レイアウト構築、回線構築等のプロジェクト推進を実施する。
- 一般社団法人ICTまちづくり共通プラットフォーム推進機構（略称：TOPIC）：デマンド・バス・タクシーの交通手段や券の電子化に係るシステムの提供。交通事業者の負担軽減と行政事務の効率化や利便性の向上、紙の利用量の削減に寄与。
- ソフトバンク：スマホ教室の実施により、デジタルデバйд解消(デジタル技能の向上や情報格差の解消)に貢献。

(実証事業により見込まれる効果)

- 人流/車流データ+住民アンケート等の様々なデータを活用し、移動課題の把握、住民の生活圏/移動需要の可視化・把握、将来の需要を予測することで、適切な運行計画などデータに基づいた交通弱者への課題解決策のシミュレーション、提案が可能。
- 紙のチケットからマイナンバーカードを用いることで、4情報から電子的な本人確認が可能となり住民だけでなく市職員の事務処理量並びに、交通事業者の精算業務等の負担軽減が期待できる。
- 公共交通の利便性向上により高齢者が外出する機会が増え、社会参加の促進につながる。
- 市役所に行かずともタクシー券の申請、オンラインでの窓口相談や、証明書発行などの行政サービスを受けられることで役場までのアクセスが困難な住民の移動負担軽減となる。
- また移動市役所車両は今後期日前投票、ヘルスケア、災害対応、買い物支援など、提供できる行政サービスは多岐にわたるため、今後の可能性は無限大。
- 上記サービスの利用方法の住民説明会、ならびにスマホが苦手な方へのスマホ教室等も実施することでスマホ普及率の向上、しいてはデジタルデバйд解消に寄与する。

デジタル技術を活用した持続可能な地域公共交通のリデザイン

応募様式A

尾花沢市 地域公共交通活性化 共創協議会

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

「デジタル技術を活用した持続可能な地域公共交通のリデザイン」実施事業

- (1)公共交通の課題解決に向けたデータ活用
- (2)マイナンバーカード利用したタクシー券電子化システムの高度化
- (3)マイナンバーカードを利活用したバス運賃割引補助システムの構築
- (4)移動市役所活用による「行かない市役所」の実現とデジタルデバイドの解消
- (5)＜令和7年度予定＞AIを活用したオンデマンド型地域公共交通システム構築

事業開始						補助対象期間							
事業	主体	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体調整/企画推進	尾花沢市	提案書提出 採択結果通知	交付手続開始	補正予算確保 事業者決定	交付決定	月に1度進捗状況報告を実施						完了実績報告	
(1)データ活用	MONET				事前調査	アンケート実施	アンケート改修	集計分析	分析結果報告	デマンド導入 シミュレーション	次年度導入 施策仕様検討	報告書提出	
(2)(3)チケット電子化	TOPIC 尾花沢タクシー				システム改修 +新規開発	システム改修 +新規開発	システム改修 +新規開発	運行開始	運行	運行	運行	運行	
(4)移動市役所	MONET	車両手配			車両納車	NW構築	運行開始 (チケット受付)	運行	運行	運行	運行	運行	
(2)(3)(4)スマホ教室	ソフトバンク						住民説明会 スマホ教室	住民説明会 スマホ教室	住民説明会 スマホ教室		住民説明会 スマホ教室		

(補助事業実施後の予定)

令和6年度実証実施の当該業務(2)(3)(4)については当市自主財源による継続的な実施、本格運用を継続する。同時に上記(1)の結果をふまえ(5)AIデマンド配車システムの導入を検討中。

事業	主体	令和6年度	令和7年度	令和8年度
チケット電子化 移動市役所 スマホ教室	尾花沢市 TOPIC 尾花沢タクシー MONET ソフトバンク	当市自主財源+当該補助金の活用等により 実証実験を実施 (市内一部で実証)	当市自主財源により 本格運用継続 (市内一部で実装)	当市自主財源により 本格運用継続 (提供エリアを市内全体に拡大)
(5)AIデマンド交通	MONET	(1)公共交通の課題解決に向けたデータ活用 の結果を基にシミュレーション仕様策定	当市自主財源+当該補助金の活用等により 実証実験を実施(令和7年10月運行開始予定) (市内一部で実証)	当市自主財源により 本格運用開始 (市内一部で実装)